

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
地理歴史	歴史総合	2	1	必	キャリアデザインコース
科目の目標	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。				
教科書	『新歴史総合』（第一学習社）	副教材等	必要に応じて用意する。		

1. 学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
工業化の進展と国民国家の建設	9	4～5	・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを考察し表現して、工業化と世界市場の形成を理解する。	○	○	○
結びつく世界と日本の開国	8	6～7	・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し表現して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	○	○	○
帝国主義とアジア諸国の変容	8	7～8	・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを考察し表現して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	○	○	○
第一次世界大戦と大衆社会	8	8～9	・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを考察したり表現したりして、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察したり表現したりして、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	○	○	○
経済危機と第二次世界大戦	8	9～10	・日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを考察したり表現したりして、国際協調体制の動揺を理解する。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第二次世界大戦後の世界と日本	6	10～11	・第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	○	○	○
冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	6	12～1	・日本とその他の国や地域の動向とを比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを考察したり表現したりして，国際政治の変容を理解する。 ・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを考察したり表現したりして，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	○	○	○
世界秩序の変容と日本	7	2～3	・日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察したり表現したりして，市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察したり表現したりして，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	○	○	○